

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 39-41 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	6 地域福祉の推進

★ 目指す姿

多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組まれており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用できることができるよう香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室(全8室)の利活用の促進、かしょ・屯鶴峯温泉の運営を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
総合福祉センター貸室の利用率	%	年間稼働率/年間利用可能枠数	50	55	60	65
総合福祉センターサービス提供満足度	%	施設に関するアンケートで「満足」と回答した人數/全回答者数(センター来訪者対象)	—	70	80	90

前年度実績値 (R5)	今年度の達成				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
39	50	38	37.6	75.2%	健康福祉部 社会福祉課
88	85	-	83.7	98.5%	健康福祉部 社会福祉課

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進とともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域福祉推進事業	市内各地域にふれあいやすいサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体・組織間の連携を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指標の合計/各事業の評価指標の最大値の合計	70	80	85	90
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいやすいきやロンが設置されている地域数(計)/設置対象地域数(全47地域)	68.0	78.7	89.3	100.0

前年度実績値 (R5)	今年度の達成				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
74	80	-	71.3	89.1%	健康福祉部 社会福祉課
68	72.0	68	68.0	0.0%	健康福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			担当課 評価 (A/B/C)	3視点 所管判定 成績の方向性 必要性 有効性 効率性	方針性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
		実績と課題						
①-1	総合福祉センター管理運営事業	【実績】 ・貸館業務については、使用料の見直し後も利用者数は平年通りである。 ・今年度よりリフレッシュ食事処の運営を目的として利用料金区分の見直しを行った。 ・温泉利用料金は昨年比で増加している。 ・温泉内にごみ水槽2台を設置した。 ・おもいやり駐車場4台分を設置した。 【課題】 ・利用率、利用者数の向上。 ・中規模修繕工事に含まれていない整備不良個所の改修。 ・駐車場の確保。	90	80	72	90	【成績の方向性】 ・貸室や屯鶴峯温泉の利用者増に向け、具体的な取組みを検討し実施する。 【方針性】 ・施設の維持管理にかかるコストについては、必要性や優先順位を検討し現状維持に努める。	健康福祉部 社会福祉課
②-1	地域福祉推進事業	【実績】 ・会議室等の貸館業務(委託)・屯鶴峯温泉の運営業務(委託)・施設設備の維持管理業務 ・社会福祉協議会や各種ボランティア団体との連携による各種イベントの実施 ・会員登録料金の見直しによる利用料金の見直しとボランティアフェスティバルを同時に開催。 ・民生委員会の研修会を通じた周知啓発 ・重層的支援体制整備事業(準備事業)の実施 ・個別避難計画の策定	90	85	80	90	【成績の方向性】 ・包括的支援体制の整備に向け、6年度準備事業として開始した重層的支援体制整備事業について、重点事業として7年度から本格実施に移行する。 【方針性】 ・重層的支援体制整備事業による推進に向けて、第4期地域福祉計画を策定する。 【コストの方向性】 ・重層的支援体制整備事業の本格実施をはじめ、地域福祉の推進にむけた新規事業を実施するため、予算規模の拡大を図る。	健康福祉部 社会福祉課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	【①-1総合福祉センター管理運営事業】 ・福祉の拠点施設として安全・安心に利用できる施設の提供及び福祉行政の安定した遂行に取り組む。 【②-1地域福祉推進事業】 ・令和6年度準備事業であった重層的支援体制整備事業については、次年度より本格実施を開始し、地域福祉をの更なる推進を図る。
---------	--

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業
休廃止	0 事業

成績の方向性		コストの方向性	
拡充	2 事業	拡大	1 事業
現状維持	0 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 45-47 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	7 医療提供体制の充実

★ 目指す姿

すべての世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。



■ 施策の主な取り組み

① 地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要			総合戦略
		目標値	実績値	目標達成度	
①-1	夜間休日応急体制充実事業	暮城地区3市1町と病院で連携し、休日・夜間の診療所運営や二次救急輸送体制実施します。また、救急医療の仕組みやかかりつけ医等に関する啓発活動を行います。	●		

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
二次救急の応需率	%	受け入れた件数／受け入れ要請件数	76.0	80	82	84
こども救急電話相談(#8000)の認知度	%	「か月児検診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「知っている」と回答した人數／全回答者数	93.4	95	95	95

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗			担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	
67.4	80	—	65.7	82.1% 健康福祉部 健康衛生課
95.4	95.5	97.8	96.3	100.8% 健康福祉部 健康衛生課

② 感染症対策の推進

感染症の拡大防止・重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要			総合戦略
		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	
②-1	予防接種事業	「予防接種法」に基づく定期予防接種(一部、公費負担あり)の実施、未接種者に対する勧奨を行う。また平時から、広報紙等を活用した感染症に関する注意喚起を行います。	●		
②-2	感染拡大対策事業	市医師会、北葛城地区医師会(香芝市、葛城市、広陵町、上牧町、王寺町・河合町)との連携会議を開催し、有事の際の対応について情報共有するとともに、その体制を整えます。	●		

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
MR(麻疹風疹)の接種率	%	各接種者数／MR1期(1歳児)、MR2期(年長児)接種対象者数	92.5	93	95	97
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数／65歳以上の人口	52.2	55	57	59

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗			担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	
91.2	93	51.3	96.3	103.5% 健康福祉部 健康衛生課
54.6	55	—	50.2	91.3% 健康福祉部 健康衛生課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	今後の方向性			担当所管
					3視点 所評定	方向性の内容(改善策)	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めいくための方策等について記入	
①-1	夜間休日応急体制充実事業			A	85 現状維持 必要性 有効性 効率性	【成果の方向性】 ・市民が必要時に利用できるよう、夜間・休日診療所や救急電話相談について、広報、ホームページ及び年間行事予定表等で周知を図った。 ・必要に応じて、香芝市医師会連携会議を実施した。 【課題】 ・引き続き、医療体制を維持していくうえで関係機関との連携を強化し、夜間・休日診療所や救急電話相談についての周知に努める。		
②-1	予防接種事業			A	85 80 72 現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・予防接種法に基づき、定期予防接種の接種勧奨や特例接種の業務を計画どおり実施した。 ・定期予防接種の接種勧奨で接種率を達成し接種実績を実現した。 ・接種率向上のため、市内医師会連携会議、議局、公費施設にポスターを掲示した。また、広報・ホームページ・年間行事予定表等に掲載し周知を図った。 【課題】 ・定期接種の接種率向上のため、実施体制の整備や市民への周知啓発が必要である。		
②-2	感染拡大対策事業			A	80 75 80 現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・予防接種法に基づき、定期予防接種の接種勧奨や特例接種の業務を継続実施し、接種率の向上を図っていく。 【課題】 ・コストについて、北葛城地区医師会との会議にて委託料が決定されたため、現状維持とする。 【成果の方向性】 ・感染症対策として、平時より正確な感染情報、その対処法や予防方法等を引き続き市民に周知していきたい。 【課題】 ・感染症の流行状況を把握し、適切に情報提供を行う。 ・感染拡大を防止する対策を、適切に行う。		

次年度の方向性	今後も安定した医療体制の確保ができるよう、関係機関と連携を強化していく。 ・定期予防接種方針に基づき、内閣・厚生労働省接種の実施を指導する。 ・感染先生会・連携会対応ができるよう、連携医療機関及び医師会との連携を図る。
---------	---

担当課評価	成果の方向性			コストの方向性
	A	3 事業	B	0 事業
	扩充	0 事業	擴大	0 事業
	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
	縮小	0 事業	縮小	0 事業
	休止	0 事業	休止	0 事業

担当課評価	成果の方向性			コストの方向性
	A	3 事業	B	0 事業
	扩充	0 事業	擴大	0 事業
	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
	縮小	0 事業	縮小	0 事業
	休止	0 事業	休止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 48-50 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	8 健康づくりの推進

★ 目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいます。



■ 施策の主な取り組み

① 健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自らで守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健(検)診・教室・相談・啓発活動の充実を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要			総合判断
		R6	R10	R14	
①-1 がん検診事業	定期的にがん検診を受けられるよう団体がん検診会の実施に加え、検診費用の補助を行います。	●			
①-2 健康づくりに関する教育事業	健康づくりのための体操や知識の普及や活動等を行います。	●			
①-3 医療費適正化事業	40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診検査及び特定保健指導を行います。	●			

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			担当所管
				R6	R10	R14	
5大がん検診受診者数	人	5大がん検診の受診者数	6,034	6,200	6,400	6,600	健康福祉部 健康衛生課
特定健診受診率	%	特定健診実施者／特定健診受診対象者	35.6	60	60	60	健康福祉部 国保医療課

② 心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができる環境を整え、自殺予防対策やメンタルヘルス支援を行い、精神的に安定した生活ができるよう支援します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要			総合判断			
		前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
②-1 精神保健事業	臨床心理士によるカウンセリング、心理検査等を受けることのできる専用窓口を設けます。また、心の健康に関する講演会の開催、グートキーパーの育成を行います。	●	6,301	6,400	1,402	6,048	94.5%	健康福祉部 健康衛生課
②-2 子ども・若者相談支援事業	15歳から概ね39歳までを対象に、自立支援に関する相談窓口を設け、支援します。	●	34.7	60	7.5	34.8	58.0%	子ども家庭部 児童福祉課

③ 望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができるようになります。また、学校給食などの地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どもたちから「食」について考える環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要			総合判断			
		前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
③-1 食育推進事業	施設内食堂、乳幼児栄養相談室の各種教室及び食費指導の実施。食生活等に関する講演会の開催を行います。また、夏休みを利用して子ども向けの料理教室等を開催します。	●	15.2	11.4	—	12.3	55.0%	健康福祉部 健康衛生課

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			担当所管
				R6	R10	R14	
自殺死亡率の減少	—	人口10万人当たりの自殺者数(毎年単位)	13.4	11.4	10.2	9.0	健康福祉部 健康衛生課
子ども・若者相談件数	件	相談件数	49	60	70	80	子ども家庭部 児童福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性			担当所管
			3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1 がん検診事業	【実績】 ・がん検診の実施率を高め、受診率向上を図る。 ・がん検診受診率向上を図る。 ・集団がん検診における事務の効率化や市民の利便性を高める。	90 80 74	現状維持 現状維持 現状維持	成績 成績 成績	※3視点評価の指標(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	健康福祉部 健康衛生課
①-2 健康づくりに関する教育事業	【実績】 ・健康づくり推進協議会及び歯科保健事業推進協議会をそれぞれ1回実施しました。 ・地区組活動動員支援事業について、ボランティアの養成講座、研修会を実施しました。 ・健康づくりに関する教室、講演会を実施しました。デジタルサイネージやLINEを用いた講演会や健康づくり教室について、幅広い年齢層の参加を促すための仕組みづくりが必要。	90 80 74	現状維持 現状維持 現状維持	成績 成績 成績	【成績の方向性】 ・令和5年度より、年度の前半は個別検診のみ、後半は集団検診を設定したことながら、検診受診率が増加している。令和6年度においても同方向で実施し、令和5年度と同様で個別検診を実施する。 【コストの方向性】 ・令和5年度より新システム導入により、事務の効率化が図られているが、人件費等の改善点はまだ残っている。事業の効率化を検討する。	健康福祉部 健康衛生課
①-3 医療費適正化事業	【実績】 ・人間ドック成績は、定員枠を30名増やしたが、10月に180人に達した。また、多くの受診者が、年齢層が高齢化傾向にあることから、年齢層を考慮して、年齢層別に検査を実施する。 ・健康づくりに対する教室、講演会を実施しました。デジタルサイネージやLINEを用いた講演会や健康づくり教室について、幅広い年齢層の参加を促すための仕組みづくりが必要。	100 55 82	拡充 拡大 拡大	成績 成績 成績	【成績の方向性】 ・令和5年度より被保険者参加型ヘルニアアプローチ事業(健診未受診)を実施し、対応率を高めているが、年齢層別に検査を実施する。 【コストの方向性】 ・予算は研修費のみであるため、コストは現状維持とする。	健康福祉部 国保医療課
②-1 精神保健事業	【実績】 ・第2次香芝市自殺対策計画の進捗管理を行い、自殺対策連携会議を実施しました。 ・「アーキャンバー」養成講座を3回、こころの健康講演会(まごとばーく)を1回、ピアカウンセラートレーニングを1回実施しました。 ・心の健診に対する理解を深め、心の健診を実施する。 ・精神保健委員会として、精神保健委員会開催と連携して実施した。精神保健委員会は、参加者から「健診を受けるよりもうれしい」という声を導き出され、また、看護師等専門職に意見を聞き取った。 ・受診率向上に実績のある「受診費用の無料化」とび「人間ドック・脳ドック費用助成」を継続して実施。 【課題】 ・被保険者の健康意識・受診意欲に直接関係する。 ・被保険者参加型ヘルニアアプローチ事業を実施する。 ・精神保健委員会の参加者が増えており、健診にあまり興味がない。	90 75 87	現状維持 現状維持 現状維持	成績 成績 成績	【成績の方向性】(有効性の改善等について) ・令和5年度より被保険者参加型ヘルニアアプローチ事業(健診未受診)を実施し、対応率を高めているが、年齢層別に検査を実施する。 【コストの方向性】 ・予算は研修費のみであるため、コストは現状維持とする。	健康福祉部 健康衛生課
②-2 子ども・若者相談支援事業	【実績】 ・子ども・若者相談窓口に相談窓口のナレッジを充実する。 ・市内居宅介護支援事業所に相談窓口ナレッジを新設し、介護支援専門員への周知を図る。市民への周知啓発として、自治会や相談窓口の周知チラシの配布する。 【課題】 ・減収対策の効果・野菜摂取量の増加のため、成人を対象とした教室を実施する。 ・乳児対象の充実を図り、育児不安の軽減に努める。	77 85 95	休廃止 休廃止 休廃止	成績 成績 成績	【成績の方向性】 ・令和6年6月より重層的支援に移行し、支援を実施している。 【コストの方向性】 ・相談の難易度をカウンセリングに対する多様で複雑なニーズに対応するため、心の健康相談室を維持運営できるように調整していく。	子ども家庭部 児童福祉課
③-1 食育推進事業	【実績】 ・香芝市こども家庭センターを開設し相談支援を行ったが、相談件数が増加した。 ・市内居宅介護支援事業所に相談窓口を新設した。 【課題】 ・乳児対象の充実を図り、育児不安の軽減に努める。	90 80 74	現状維持 現状維持 現状維持	成績 成績 成績	【成績の方向性】 ・食育等の参加者を増やすため、開催の周知啓発を引き続き実施する。 【コストの方向性】 ・乳児対象の充実を図る。	健康福祉部 健康衛生課

■ 施策の方向性(改善策)

・がん検診事業の実施体制や勤務方法について検討し、受診率の向上を図る。
・定期的の評議会開催と相談会開催を一括で実施する。
・定期的評議会開催と相談会開催を一括で実施する。
・定期的評議会開催と相談会開催を一括で実施する。
・定期的評議会開催と相談会開催を一括で実施する。

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性				
	A	4 事業		B	2 事業	C	0 事業
A	1 事業	拡充	1 事業	4 事業	2 事業	0 事業	0 事業
B	4 事業	現状維持	4 事業	4 事業	4 事業	0 事業	0 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業
		休廃止	1 事業	休廃止	1 事業	休廃止	1 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 51-53 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	9 高齢者福祉の充実

★ 目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。

SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 自立支援・介護予防・重度化防止の推進

高齢者が生き生きと自立した生活が送れるよう、地域のニーズや課題、活用できる社会資源を把握し、自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種サービスを展開します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値	R6	R10	R14
地域活動による『いのいの場』の設置割合	%	「いきいき百歳体操」が行われた地域数／設置対象地域数(全50地 域)	30.0	84.0	94.0	100.0	

② 日常生活を支援する体制の整備

地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域住民や事業者等の協力も得ながら、高齢者の安全で安心な日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の強化を進め、介護等が必要にならっても住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくりを推進します。

■実施する主な事業

No	名称	概要	総合戦略
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	掃除や買い物等の日常生活支援、運動教室や栄養・口腔機能指導等の介護予防サービス等に加え、地域における適切な場の創出、介護予防に関するボランティアの育成の助成等の支え合いの仕組みづくりによる地域包括支援センターの機能強化等の取り組みによるサービスの拡大、地域住民や企業等の多様な主体によるサービスも提供できるよう展開していきます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値	R6	R10	R14
地域で独立せず生活できている高齢者の割合	%	介護保険算定調査で「心配事や疾病を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数／全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	89.1	89.5	90	90.5	
認知症サポート・養成人数	人	認知症サポート・養成講座に参加した人数(平成22年度からの累計)	3,843	4,800	5,600	6,400	

■実施する主な事業

No	名称	概要	総合戦略
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図ります。介護を必要とする人の家庭に対する支援、また、医療・介護サービス事業者等との連携強化等を行い、包括的に支援できる体制を実現します。認知症の方に対する支援、高齢者の権利擁護及び虐待防止対策等高齢者の安心につながる支援を行います。	●
②-2	介護予防支援事業	地域包括支援センターで、要支援者の認定を持つ方が、必要な介護サービス等を受けられるよう支援します。	●
②-3	生きがい対策事業	长寿を祝うイベント、事業を実施し、高齢者の社会参加を促進し、生きがいのある暮らしの支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値	R6	R10	R14
地域で独立せず生活できている高齢者の割合	%	介護保険算定調査で「心配事や疾病を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数／全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	89.1	89.5	90	90.5	

■実施する主な事業

No	名称	概要	総合戦略
③-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値	R6	R10	R14
居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000	

No	名称	概要	総合戦略
③-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	—

③ 介護保険給付の適正化

介護給付費の適正化に取り組み、介護保険制度の財政的な健全性を確保し、安定的な運営を図ります。

No	名称	概要	総合戦略
③-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値	R6	R10	R14
居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000	

■ 実施する主な事業の評価

No	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性	担当所管			
			3視点				
今年度の事業実施計画							
実績と課題							
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	<p>[実績] ・香芝市独自の確立した基盤のサービスを提供する上にできています。 ・4月から6月にかけて、地域包括支援センターにて、地域包括支援センターの構造改修説明会を開催しました。地域でも3回体制説明会を実施し、57ヶ所新規に立ち上がった。「いきいき百歳体操」の会場を集合会所や公民館へ限定せず、商業施設や個人宅の会場に立ちました。</p> <p>[課題] ・介護予防・ボランティア・イベント事業を実施し、568名の申請があった。ボーナント介護予防・ボランティア・イベント事業を実施するに際して、認知症高齢者等の会員登録料等の課題が発生する。 ・介護予防・ボランティア・イベント事業について、認知症高齢者等の会員登録料等の課題が発生する。 ・認知症高齢者等の会員登録料等の課題が発生する。 ・認知症高齢者等の会員登録料等の課題が発生する。</p>	85	拡充			
・通所型短期集中サービス利用者が、介護サービスから地域における適い場所等へ移行できるよう支援する。 ・お年寄りが安心しておられる適い場所である「いきいき百歳体操」の推進月間と、体験説明会を開催する。 ・介護予防・ボランティア・イベント事業を実施し、「いきいき百歳体操」について啓発し、新規立ち上げ団体を増やす。							
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	<p>[実績] ・見守り・事前登録事業の新規申請者は、10名あった。 ・認知症高齢者・要成年委託を16組、フォローアップ講座を1回実施した。 ・今年4月に開催した、チームオブジンク会議が認知症高齢者の方にも取り組み、活動を継続して支援する。 ・認知症高齢者に対する介護予防講座を開催しました。</p> <p>[課題] ・認知症高齢者に対する介護予防講座を開催して、65歳未満で発症する若年性認知症の内容も盛り込む必要があります。 ・チームオブジンクの継続的な運営及び新規チームメンバーへの受け渡しが必要である。 ・チームオブジンクの継続的な運営及び新規チームメンバーへの受け渡しが必要である。 ・高齢者に対する権利擁護を継続して支援するため、今後も講習会を開催する必要がある。</p>	72	拡大			
・認知症高齢者に対する介護予防講座を開催して、65歳未満で発症する若年性認知症の内容も盛り込む必要があります。 ・チームオブジンクの継続的な運営及び新規チームメンバーへの受け渡しが必要である。 ・高齢者に対する権利擁護を継続して支援するため、今後も講習会を開催する必要がある。							
②-2	介護予防支援事業	<p>[実績] ・3月度で町宅合宿開催修会を4回開催した。出席率70%以上の介護支援専門員が参加された。 ・自立支援地元会議を開催を18ヶ所(年6回、各3コース)開催し、参加者を増やす。 ・市長への感謝状等、認知症高齢者に対する介護予防講座を開催した。</p> <p>[課題] ・介護予防支援事業を継続して実施するため、自立支援地元会議を開催(年6回、3回(Cのみ))を開催し、専門職による助言や、地域における資源について検討する。</p>	100	現状維持			
・認知症高齢者に対する介護予防講座を開催して、65歳未満で発症する若年性認知症の内容も盛り込む必要があります。 ・チームオブジンクの継続的な運営及び新規チームメンバーへの受け渡しが必要である。 ・高齢者に対する権利擁護を継続して支援するため、今後も講習会を開催する必要がある。							
②-3	生きがい対策事業	<p>[実績] ・香芝市ふたみクラブ連合会で実施した「アーバン・リース・アーバン・アーバン」や「クリル大会等の催し物」の開催や、香芝市ふたみアーバン・リース・アーバン・アーバンの会員登録料等の課題が発生する。 ・高齢者の会員登録料等の課題が発生する。 ・シニア健康祭を実施し、高齢者自らの社会参加、医療・介護予防意識の向上を図る。 ・加齢健常度の高齢者に対する、積極的な社会参加及び地域交流の促進等を図るために、施設購入費用の一部を助成する。</p> <p>[課題] ・高齢者の会員登録料等の課題が発生する。 ・シニア健康祭を実施するに際しては、令和5年7月から実施した事業であるため、引き続ぎで開催する必要があります。 ・高齢者に対する権利擁護を継続して支援するため、同時に市町村の動向を踏まえ、事業内容を検討していく必要があります。</p>	69	現状維持			
・高齢者の会員登録料等の課題が発生する。 ・シニア健康祭を実施するに際しては、令和5年7月から実施した事業であるため、引き続ぎで開催する必要があります。 ・高齢者に対する権利擁護を継続して支援するため、同時に市町村の動向を踏まえ、事業内容を検討していく必要があります。							
③-1	介護保険給付適正化事業	<p>[実績] ・必要なケースではアーバン・リース・アーバン・アーバンの会員登録料等の課題が発生する。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。</p> <p>[課題] ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。</p>	85	現状維持			
・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。							
③-2	介護保険給付付適正化事業	<p>[実績] ・給付の適正化を図り、ケアプラン点検(ケアプランの点検及び介護料外付等600円)及び介護料外付等600円の点検を実施する。 ・要介護認定の適正化を目的として、調査票と主徴見直し書の点検および審査会の合議体による審査会を開催する。 ・国保連合会より適正化システムのデータ等を活用し、効率的に適正化事業を実施する。</p> <p>[課題] ・国保連合会から提供されるデータが有効に活用できるよう、様々な観点からデータ分析を実施し、一層適正化事業の充実を図る必要がある。</p>	80	現状維持			
・国保連合会から提供されるデータが有効に活用できるよう、様々な観点からデータ分析を実施し、一層適正化事業の充実を図る必要がある。							
③-3	介護保険給付付適正化事業	<p>[実績] ・必要なケースではアーバン・リース・アーバン・アーバンの会員登録料等の課題が発生する。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。</p> <p>[課題] ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。</p>	70	現状維持			
・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。 ・認知症高齢者の見守りの点検を100%行い、審査がスムーズに実行できる様に取り組んでいます。							

No	事業名	今年度の方向性	担当所管評価	成果の方向性		コストの方向性	
				A	5 事業	B	0 事業
次年度の方向性	介護が必要な状態になってしまって、住み慣れた地域や住まいでの、尊厳を保しながら、暮らし続けていくよう、ライフスタイルに応じた地域包括ケアシステムの更なる深化を目指す、自立支援・介護予防・重度化防止を取り組むとともに、地域包括支援センター機能の向上を図ります。	縮小	0 事業	拡充	1 事業	縮小	1 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

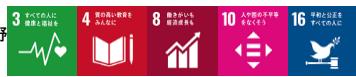
令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 51-53 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	10 障がい者福祉の充実

★ 目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自分らしく生き生きと安心して暮らすことができている。



■ 施策の主な取り組み

① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した細やかなサービスを展開します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要					総合評価
		目標値	R6	R10	R14		
①-1	地域生活支援事業	継続的な相談支援をはじめ、日常生活用具の貸付や入浴・移動等日常生活における支援や要介護認定者への高齢者等によるコミュニケーション等の支援を行います。また、障がい者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行ななど、障がい者の地域における日常生活や社会生活の一環に対する支援やサービスの提供を行ないます。	●				

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
			R6	R10	R14	
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿(手話通訳・要約筆記)に登録されている人數(累計)	33	35	37	40
手話奉仕員の養成人數	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人數 (平成14年度からの延べ人數)	500	550	600	650
障がい者の職場体験受け入れ人數	人	市が職場体験として受け入れた人數	4	8	12	16
優先調達金額	千円	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800

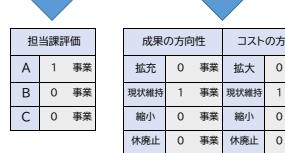
前年度実績値 (R5)	今年度の進捗			担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	
34	35	36	36	150.0% 健康福祉部 社会福祉課
572	550	590	590	180.0% 健康福祉部 社会福祉課
3	8	0	2	25.0% 健康福祉部 社会福祉課
500	600	272	962	160.3% 健康福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性	担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	方向性の内容(改善策)		
①-1	地域生活支援事業	【実績】 -移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具の給付事業、 -要介護認定のある方へのコミュニケーション支援としての手話通訳・要約筆記者の登録事業 -精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成事業 -障がい者の社会参加促進(手話奉仕員、视觉障がい者及び聞こえのサポート)の養成事業、 -精神障害者就労支援事業 -精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成	A	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
【成りの方向性】 -移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具の給付事業、 -要介護認定のある方へのコミュニケーション支援としての手話通訳・要約筆記者の登録事業 -精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成事業 -障がい者の社会参加促進(手話奉仕員、视觉障がい者及び聞こえのサポート)の養成事業、 -精神障害者就労支援事業 -精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成						

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	地域福祉の推進に向けた各事業は既に目標を達成することができたが、障害者の職場体験受け入れ人數について、昨年度に統一して目標の達成とならなかった。 職場体験の受入れについて、自立支援協議会を通じて事業所への積極的な働き掛けを行うとともに、府内の周知方法の見直しや、受入れ実績のある所の受入人數の調整を検討する。
---------	---



担当課評価	成績の方向性	コストの方向性
A 1 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 0 事業	現状維持 1 事業	現状維持 1 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
休廃止 0 事業	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

健康福祉部
社会福祉課

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 57-58 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	11 生活困窮者支援の充実

★ 目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会



■ 施策の主な取り組み

① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
①-1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
支援プラン策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数／一般就労を目標とした支援プランの策定期数	75	80	85	90

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100	44	59	59.0%	健康福祉部 生活支援課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	今後の方向性		担当所管
					3視点 所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	自立支援促進事業	【実績】 就労支援プランの策定期数が17件であり、内就労開始となったのは10件であった。 【課題】 ・就労開始となっても早期退職する等の定着しない傾向と、再就職の就雇用条件のこだわりがありなかなか就職に至らないという現状がある。 ・引きこもり等困難要因は多様化しており、より個別性に配慮した支援プランの策定期と就労に向け、段階的なアセスメントと長期・継続的な支援が必要。	B	77 35 87	現状維持 現状維持	個々の困難状況や特性(職歴や病状等)、多様なニーズ(求職要件等)に応じた就労支援プランを作成し、職かひ部門(府内他)やハローワーク等関係機関とも連携し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。	健康福祉部 生活支援課
		・相談窓口の開設 ・生活困窮者の就労支援 ・生活保護受給者の就労支援 ・生活困窮者に対する住居確保貸付金の支給					

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	個々の困難状況や特性(職歴や病状等)、多様なニーズ(求職要件等)に応じた就労支援プランを作成し、職かひ部門(府内他)やハローワーク等関係機関とも連携し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。
---------	--

担当課評価	成績の方向性		コストの方向性	
	A	0 事業	B	0 事業
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大
B	1 事業	現状維持	1 事業	現状維持
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小
		休廃止	0 事業	休廃止

未